



菟川地区

北の杜学園通学安全 支援活動



5年後、10年後に向けて「住みやすい。住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介します。

東長岡町馬場区では、北の杜学園に通学する児童の登下校時間の見守り活動を行っています。

活動を開始したきっかけは、令和3年に北の杜学園が開校したことに伴い、馬場区の児童の通学路が変更になったこと。新通学路には東武鉄道の3ヶ所の踏切横断や(株)スバル北門前など交通量の多い横断歩道が含まれるため、ボランティアを募集し令和3年5月から開始しました。

現在のボランティア登録数は59名。見守り地点は5ヶ所で、登校日は毎日、交替でそれぞれの地点で1~2名が見守り活動を行っています。



太田東保育園東交差点



富士ハードクロム付近横断歩道



(株)スバル北門前

毎日ボランティアの方が通学路に立ち、「おかえり」や「気をつけて帰ってね」と声掛けをしていることは、子どもだけでなく親御さんにとっても心強い存在です。

この活動は、交通事故や犯罪の防止だけでなく、地域のつながりが減少しつつある昨今において、地域全体で子どもたちの安全を守り、思いやりや支えあう気持ちの醸成に寄与しています。

北の杜学園

通学安全支援活動

情報交換のための会議



毎月1回、馬場区民会館で情報交換のための会議を開催しています。活動をしていて気づいたことや危険な場所等を報告し、共有しています。取材に伺った日は「もうすぐ、現在工事している場所が開通して、2号線から多くの車が通学路に進入してくると思うので、その時期はパトロールにも力を入れたい」や「地区の祭りの時には、子ども達が外に遊びに行くことが増えるので気を付けたい」などの意見が出ていました。

ボランティアの方にお話を伺いました

この活動には当初から参加しています。見守り活動や地区のお祭りなどを通して子どもたちとも顔見知りになり、つながりができるのがとても良いです。顔を合わせると挨拶をしてくれる子どもが多く、やりがいがあります。



菅生六夫さん

区長にお話を伺いました



馬場区の八代敏彦区長

この活動も4年目となりました。雨の日も風の日も、猛暑の炎天下でも、子どもの登下校の安全のため、ボランティアの皆さんが頑張ってくれています。ボランティアの皆さんに心から感謝しています。

保護者の方にお話を伺いました



安井祐子さん

トラックの出入りが多い場所や横断歩道も何ヶ所かあったりと、心配な箇所がいくつかあるのでボランティアの方が見守り活動してくださっていると安心です。子どもたちも安心して通学できていると思います。